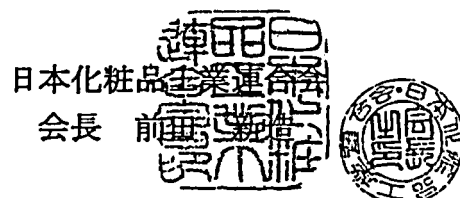


24粧工連第3号
平成24年6月20日

日本化粧品工業連合会傘下会員各位



日本化粧品工業連合会 UVA 防止効果測定法基準の改定について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本化粧品工業連会（粧工連）では、平成7年11月5日付の「日本化粧品工業連合会 UVA 防止効果測定法基準」と題する UVA 測定法を、粧工連の自主基準として運用しておりますが、平成23年（2011年）12月15日付で ISO（国際標準化機構）から In vivo UVA 測定法が IS（国際規格）として発行されたことに伴い、UVA 測定法を別添のとおり改定致します。

また、UVA 防止効果の表示方法につきましても別添のとおり改定致します。

これまでと同様に、UVA 防止効果の程度を記載される場合には、日本化粧品工業連合会の自主基準で定めた測定法にしたがって測定を行い、その結果に基づき算出した数値に基づく分類表示にしたがって記載されるようよろしくお願い申し上げます。

敬具

日本化粧品工業連合会 UVA 防止効果測定法基準<2012年改定版>

1. UVA 測定法

ISO24442 Cosmetics — Sun protection test methods —
In vivo determination of sunscreen UVA protection に基づき
測定する。

2. UVA 防止効果表示方法

ISO24442 に基づき測定し、得られた UVAPF_i の算術平均として
求められた UVAPF の小数点以下を切り捨てた整数に基づく下
記の分類表示を行う。

UVAPF	分類表示
2 以上 4 未満	PA+
4 以上 8 未満	PA++
8 以上 16 未満	PA+++
16 以上	PA++++

3. SPF との併記

UVA のみを防止するだけでは紫外線防止用化粧品とはなりえないため、
上記の UVA 防止効果を記載する場合は、SPF（平成 23 年 10 月 5 日付 23
粧工連第 12 号「日本化粧品工業連合会 SPF 測定法基準の改定について」
の SPF 算出方法による）と合わせて記載しなければならない。

4. 本自主基準発効日

本自主基準は、平成 25 年 1 月 1 日から発効する。

なお、平成 24 年 12 月 31 日以前に UVA 防止効果の測定を行う場合、
ISO の In vivo UVA 測定法 (ISO24442) に基づいて測定することは差し支
えない。ただし、この測定結果に基づき、平成 24 年 12 月 31 日以前に UVA
防止効果を記載する場合は、平成 7 年 11 月 5 日付の「日本化粧品工業連合
会 UVA 防止効果測定法基準」の「12. UVA 防止効果表示方法」にしたが
って記載しなければならない。

以上